

施策20 協働・コミュニティ

＜目指すまちの姿＞

地域住民がコミュニティで気軽に集い、交流と助け合いがあるまち

■地域コミュニティ機能の低下や市民ニーズの多様化・高度化が進んでおり、個人の努力や行政だけの取組ではなく、あらゆる分野で市民、地域、企業、団体等、多様な主体と行政が気軽に集い、交流する場があり、助け合うことができる協働によるまちづくりを推進します。

＜施策に関する成果指標＞



＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇人口減少や高齢化が進む中、社会的に孤立する人の増加が懸念されています。
- ◇市民との情報共有を図るため、市民公益活動団体の情報を集約し公開しています。
- ◇NPO団体数と区加入率、老人クラブ加入率は減少傾向となっており、区・自治会等の地域コミュニティが希薄化しているとともに、区長等の役員の後継者が少なく、高齢化が進んでいます。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇地方分権の進展や市民ニーズの多様化により、行政だけでなく市民も役割を認識し、ともにつくるまちづくりが必要です。
- ◇地域において顔が見える関係づくりや、絆を深めていく取組が必要です。
- ◇既存のコミュニティは中心メンバーが高齢化しており、地域を支える人材の育成と確保が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



市民同士が気軽に交流できる機会があったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 市民参画・協働の推進

- ◇パブリックコメント制度や審議会・委員会への市民公募制度、またワークショップの開催等、市民がより市政に参画しやすい環境づくりを推進します。
- ◇市民、行政ともに、市民協働の理解や参画が進むよう、協働の仕組みの充実や情報提供を行います。
- ◇NPO団体等の設立や運営について、情報提供等の支援を行い、NPO団体や民間団体と連携してまちづくりを行います。

② 地域コミュニティづくりの推進

- ◇地域コミュニティ活動の場を提供し、組織間の交流や連携を図るため、取組を支援します。
- ◇地域コミュニティ活動を活性化するため、地域を支える人材の育成と確保に努めます。
- ◇地域コミュニティの様々な課題を解決するために、コミュニティビジネスの取組を支援します。

＜市民、企業・団体等に期待する取組＞



- ◇市民は市政や地域のまちづくりに関心を持ち、地域コミュニティ活動や、各種会議、意見募集の場等に積極的に参加します。
- ◇企業・団体等は地域の一員として、自らの専門性や得意分野をいかしてまちづくりに還元します。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市市民協働推進指針

施策 21 シティプロモーション

＜目指すまちの姿＞

市民がまちへの愛着や誇りを持ち、魅力にあふれ、持続的に発展していくまち

■市民のまちへの愛着や誇り(シビックプライド等)を醸成するとともに、市内外の人が定住したいと思える魅力を高め、効果的に発信することで「選ばれるまち」として持続的に発展していくことができるよう、シティプロモーションの充実に取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞



※第6次泉南市総合計画にかかる市民意識調査より『住み続けたい』と回答した人の割合

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇全国規模で移住・定住促進や観光誘客等に向けた取組が加速しています。現在、本市においては、誘客連携イベントや公民連携の取組を通して、関係人口や定住人口の獲得に向けた取組を強化しています。
- ◇市政情報や本市の施策、本市のプロモーションについては、広報紙及び本市ウェブサイト、SNSで情報を発信しています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇市民のシビックプライドを醸成するインナープロモーションが必要です。
- ◇市外における本市の認知度を高め、関心を得るアウトタープロモーションが必要です。
- ◇持続的に発展を目指すため、それぞれのプロモーションにおいては、本市が持つ様々な資源をいかし、市内外を問わず多くの人々から選ばれるまちとなる必要があります。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



あらゆる手段を使って泉南市の魅力を全国に発信できたらいいなあ

＜関連する SDGs＞



＜実施する主な取組＞

① インナープロモーションの推進

- ◇市民が自らまちの魅力に気づき、シビックプライドを醸成するイベント等に取り組みます。
- ◇様々な媒体を活用し、市民がまちの魅力に気づくことができる情報発信に取り組みます。

② アウタープロモーションの推進

- ◇市外への情報発信を強化することで本市のブランドイメージを定着させ、まちの総体的な価値を高めます。
- ◇誘客連携イベント等によってにぎわい（関係人口・交流人口）を生み出し、認知度を向上させ、経済活動の活性化を促します。

＜市民、企業・団体等に期待する取組＞



- ◇市民は泉南市の魅力に気づき、郷土愛を深め、SNSを活用した情報発信や口コミ等により、積極的に泉南市の魅力をPRします。
- ◇企業・団体等は自社・自団体のPRとあわせて泉南市の魅力をPRします。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策 22 情報政策（DX）

＜目指すまちの姿＞

誰ひとり取り残さない、デジタルでつながる便利で安全・安心なまち

■先端技術をまちづくりに取り入れながら、デジタル人材の育成・確保や、デジタルトランスフォーメーション（DX）を進め、誰ひとり取り残すことなく、暮らしやすく、便利で安全・安心なデジタル社会の実現に取り組みます。

＜施策に関する成果指標＞

オンライン手続き利用率

＜現状値（令和3年）＞

＜目標値（令和14年）＞

—



65.05%

※地方公共団体が優先的にオンライン化を推進すべき手続（58手続）のオンライン利用率

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇マイナンバーカードの普及推進のためマイナポイント事業や、行政手続のオンライン化・キャッシュレス化に向けた検討・調整を行っています。
- ◇市民サービスの向上や業務効率の改善に向けた取組の情報収集や調査研究に取り組んでいます。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇オンライン化できる行政手続の整理や、行政事務の見直しが必要です。
- ◇デジタル化の進展に伴う、情報セキュリティの向上が必要です。
- ◇デジタル技術を有効活用できるよう、市民のデジタルリテラシーの向上が必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



誰もがデジタルを活用して、便利に暮らせるまちになったらいいなあ

＜関連するSDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 情報政策の推進

- ◇電子申請システムを導入し、各種行政手続き等をオンラインで行えるよう、市民の利便性の向上を図ります。
- ◇民間事業者と連携し、市民の利便性の向上及び市の業務の効率化が図られるデジタル技術を活用します。
- ◇情報セキュリティの向上を図ります。

② デジタルリテラシーの向上

- ◇市民がデジタルを活用できるようにするための環境整備を進め、デジタルデバイドの解消を図ります。
- ◇市職員のデジタルリテラシーの向上に向けた教育・研修等を行います。

＜市民・企業・団体等に期待する取組＞



- ◇市民はインターネット上のルールやマナーを守りながら、オンライン申請等、生活の中でデジタル技術を有効に活用します。
- ◇企業・団体等は事業や活動にAI・RPA等を取り入れ、サービスや取組の充実を図ります。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市DX推進計画

施策 23 行財政運営

＜目指すまちの姿＞

持続可能で安定した行政サービスを受けられるまち

■安定的な財源確保や、効率的・効果的な行財政運営に努めるとともに、近隣市町との連携を検討しながら、行政の広域化に取り組むなど、持続可能で安定した行政サービスを提供します。

＜施策に関する成果指標＞

経常収支比率（過去3年間の平均値）

＜現状値（令和3年）＞

95.8

＜目標値（令和14年）＞

95.0 未滿

＜施策に関する主な泉南市の取組状況・背景＞

- ◇地方創生への取組や災害対策・感染症拡大対策等、基礎自治体として期待される役割は多様化・複雑化しています。
- ◇人口減少等により、行政サービスを維持するために必要な税収の確保が困難となっており、費用対効果を踏まえた健全な財政運営に取り組んでいます。
- ◇時代の変化により自治体の独自性が求められる中、市民に信頼される柔軟な行政サービスを実行する能力が職員に求められています。

＜施策に関する主な課題＞

- ◇限られた人材で持続可能な行政サービスを提供し続け、市民福祉の水準を維持することが求められており、持続的な行財政運営のための財務戦略が必要です。
- ◇行政課題が高度化・多様化しており、組織体制の強化や政策形成能力のある職員の育成が必要です。
- ◇実質公債費比率等の各種財政指標からみると、とりわけ経常収支比率が高く財政の硬直化が進行しているため、財政状況の改善が必要です。
- ◇公共施設が老朽化しており、このままでは維持更新に要する財政負担の増加が見込まれるため、長寿命化や、複合化・統合・集約化の検討を含めた最適な配置が必要です。
- ◇人口減少等による複雑・高度化した行政サービスに対応するため、行政の広域化等、効果的な行政運営を行うことが必要です。

＜関連する市民の意見・アイデア＞



市民が安心して納得できる行財政運営が行われたらいいなあ

＜関連する SDGs＞



＜実施する主な取組＞

① 組織の適正化と人材の育成

- ◇施策や事業の見直しを通じて、組織や人員配置のあり方を検討し、効果の高い行政サービスを実現します。
- ◇各種研修の実施等、計画的な人材育成や人事評価制度の運用により、職員が持つ能力発揮と成長を促す組織風土の醸成を図ります。
- ◇民間企業との人材交流・協働等を通じ、ノウハウや技術、柔軟な発想を行財政運営に取り入れます。
- ◇まちづくりのあらゆる分野で地域の実情を捉え、それに対応する広域連携の取組を検討していきます。

② 健全な財政運営

- ◇多様な自主財源や税収等安定した歳入確保を図り、一方でファシリティマネジメントの推進等、効果的・効率的な歳出に努めるなど、戦略的な財政運営を図ります。
- ◇財政運営について市民の理解を得るため、わかりやすい財政状況の公表に努めます。

＜市民、企業・団体等に期待する取組＞



- ◇市民は泉南市の財政状況に関心を持つとともに、市が行うアンケート調査等に協力します。
- ◇企業・団体等は市との人材交流・協働を通じてノウハウや技術等を提供します。

＜関連する主な個別計画＞

- ◇泉南市中期財政計画
- ◇泉南市人材育成基本方針
- ◇泉南市公共施設等最適化推進基本計画
- ◇泉南市公共施設等最適化推進実施計画
- ◇泉南市定員管理計画
- ◇泉南市公共施設等個別施設計画